TBC
変更の可能性有

# 2025年度 前期

## 留学生教育・支援センター

## 長崎大学日本語・日本文化プログラム（JLCP）

## シラバス一覧


| 科目名 | 曜日・校時 | 担当教員名 | ページ |
|---|---|---|---|
| 中級Ⅰ 会話 | 月４ | 日暮 | … 1 |
| 中級Ⅰ 作文 | 月３ | 上谷 | … 2 |
| 中級Ⅰ 読解 | 火１・２ | 郭 | … 3 |
| 中級Ⅰ 聴解 | 木１ | 小谷 | … 4 |
| 中級Ⅰ 漢字 | 木２ | 渡邊 | … 5 |
| 中級Ⅱ 会話 | 木１ | 古本 | … 6 |
| 中級Ⅱ 作文 | 金１ | 夛田 | … 7 |
| 中級Ⅱ 読解 | 火３・４ | 日暮 | … 8 |
| 中級Ⅱ 聴解 | 木２ | 小谷 | … 9 |
| 中級Ⅱ 漢字 | 月４ | 郭 | … 10 |
| 【JLCP】中級総合B | 金２ | 佐多 | … 11 |
| 上級Ⅰ 読解 | 金１・２ | 松尾 | … 12 |
| 上級Ⅰ 総合 | 木１・２ | 野田 | … 13 |
| 上級Ⅱ 総合Ｃ | 火１・２ | 古本 | … 14 |
| 上級Ⅱ 総合Ｄ | 金１・２ | 川﨑 | … 15 |
| 【JLCP】日本探究（文学で学ぶ日本文化） | 月２ | 安田 | … 16 |
| 【JLCP】日本探究（文化について考える） | 月３ | 夛田 | … 17 |
| 【JLCP】日本探究（日本語小論文入門） | 月４ | 古本 | … 18 |
| 【JLCP】日本探究（留学生ビジネス研究） | 木３ | 溝部 | … 19 |
| 【JLCP】日本語能力試験Ｎ１ 対策講座 | 木４ | 溝部 | … 20 |
| 【JLCP】日本の文化・社会・言語Ⅱ | 火５ | 古本 | … 21 |
| 【JLCP】日本の文化・社会・言語Ⅱ | 火５ | 郭 | … 22 |
| 【JLCP】日本の伝統文化 | 水４ | （主）古本 | … 23 |
| 【JLCP】茶道 | 水２ | 髙木 | … 24 |
| 【JLCP】日本文学B | 木５ | 小橋 | … 25 |
| | | | |
| 留学生教育・支援センターで開講されている日本語プログラムでの各クラスのレベルについて | | | … 26 |


Updated: March 4, 2025

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 2025年度 前期 | 曜日・校時 | 月曜日・4校時 | コマ数 | 1コマ |
| 授業科目 | 中級Ⅰ会話 | | | |
| 担当教員名 | 日暮 康晴 | | e-mail | 授業初日に通知 |
| 授業到達目標 | (1) 日本語の会話の中で使われる表現を理解し，適切に使うことができる。<br>(2) 日本語の会話の中で自分の意思を適切に表現し，相手に伝えることができる。<br>(3) 相手の発話に対して適切な反応や応答を用い，コミュニケーションを続けることができる。 | | | |

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

| | | |
|---|---|---|
| 第1週 | 4/7 | オリエンテーション・自己紹介・Part 0 |
| 第2週 | 4/14 | Part 1 話しを始める Unit1 |
| 第3週 | 4/21 | Part 1 話しを始める Unit 2 |
| 第4週 | 4/28 | Part 1 話しを始める Unit 3・Unit 4 |
| 第5週 | 5/12 | Part 2 話しを続ける Unit 5・Unit 6 |
| 第6週 | 5/19 | Part 2 話しを続ける Unit 7・Unit 8 |
| 第7週 | 5/26 | Part 2 話しを続ける Unit 8・Unit 9 |
| 第8週 | 6/2 | 実力チェック1（Unit 1～9），フィードバック・振り返り |
| 第9週 | 6/9 | Part 2 話しを続ける Unit 10 |
| 第10週 | 6/16 | Part 3 話しを変える Unit 11 |
| 第11週 | 6/23 | Part 3 話しを変える Unit 12 |
| 第12週 | 6/30 | Part 3 話しを変える Unit 13 |
| 第13週 | 7/7 | Part 4 話しを終わらせる Unit 14 |
| 第14週 | 7/14 | Part 4 話しを終わらせる Unit 15 |
| 第15週 | 7/28 | 実力チェック2（Unit 1～15），フィードバック・振り返り |

| | |
|---|---|
| 教科書・教材等 | 『にほんご会話上手!』<br>（岩田夏穂・初鹿野阿れ，アスク出版，ISBN=978-4-87217-824-1，1980円） |
| 成績評価の方法・基準等 | (1) 実力チェック：60%（1：30%，2：30%）<br>(2) 授業への参加度：30%<br>(3) 宿題：10%<br>注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は，成績評価は与えられません。 |
| アクセシビリティ | 長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または留学生教育・支援センターにご相談下さい。<br>留学生教育・支援センター<br>（TEL）095-819-2243　（E-MAIL）ryugakusei_nihongo@ml.nagasaki-u.ac.jp |
| 備考（準備学習等） | 私的な理由（ex. 旅行，家族訪問etc.）によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験etc.，専門関係：乗船実習，研究発表etc.）により，テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが，日時の変更が認められた場合，点数は獲得点数の90%となる。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 2025年度 前期 | 曜日・校時 | 月曜日・3校時 | コマ数 | 1コマ |
| 授業科目 | 中級Ⅰ作文 | | | |
| 担当教員名 | 上谷 あゆみ | | e-mail | 授業初日に通知 |
| 授業到達目標 | 自分自身や身の回りのことについて (1) ある程度まとまりのある長い文章が書けるようになる。(2) ある程度豊かな表現を用いて内容がある文章が書けるようになる。(3) 相手に伝わるわかりやすい文章が書けるようになる。 | | | |

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

授業では，まず，課のテーマについて，ほかの人と話したり，いくつかのモデル文を読みます。つぎに，作文を書くときに使えるように初級で学んだ表現や文型を練習してみます。それから書く内容を整理します。さいごに作文を書きます。

(1) 予習：つぎに授業する課のモデル文を読み，わからない単語は 授業前までに調べてください。

(2) 宿題：授業内で最後まで作文が書けなかった場合は，授業後の金曜日の23:59までに完成し，LACSで出してください。

| | | |
|---|---|---|
| 第1週 | 4/7 | オリエンテーション，1課 食事 |
| 第2週 | 4/14 | 2課 健康 |
| 第3週 | 4/21 | 3課 〇年後の自分 |
| 第4週 | 4/28 | 4課 休みの日の思い出 |
| 第5週 | 5/12 | 5課 もし動物になるなら |
| 第6週 | 5/19 | 6課 苦手なもの・こと |
| 第7週 | 5/26 | 中間課題 |
| 第8週 | 6/2 | 8課 料理のレシピ |
| 第9週 | 6/9 | 9課 自分の名前 |
| 第10週 | 6/16 | 10課 尊敬する人 |
| 第11週 | 6/23 | 11課 おすすめ |
| 第12週 | 6/30 | 12課 好きな映画・アニメ・ドラマ |
| 第13週 | 7/7 | 13課 悩み相談 |
| 第14週 | 7/14 | 14課 日本で驚いたこと |
| 第15週 | 7/28 | 14課補足：文体と書き言葉について |
| 第16週 | 8/4 | 期末試験 |

| | |
|---|---|
| 教科書・教材等 | 『身近なテーマで伝える！ にほんご作文トレーニング 初中級（A2-B1）』<br>（仙台国際日本語学校他，くろしお出版，ISBN=978-4874249826，1980円） |
| 成績評価の方法・基準等 | (1) 10回分の作文：50%　(2) 授業への参加度：20%<br>(3) 中間課題：10%　(4) 期末試験：20%<br>注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は，成績評価は与えられません。 |
| アクセシビリティ | 長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または留学生教育・支援センターにご相談下さい。<br>留学生教育・支援センター<br>（TEL）095-819-2243　（E-MAIL）ryugakusei_nihongo@ml.nagasaki-u.ac.jp |
| 備考（準備学習等） | 私的な理由（ex. 旅行，家族訪問etc.）によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験etc.，専門関係：乗船実習，研究発表etc.）により，テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが，日時の変更が認められた場合，点数は獲得点数の90%となる。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 2025年度 前期 | 曜日・校時 | 火曜日・1校時，2校時 | コマ数 | 2コマ |
| 授業科目 | 中級Ⅰ読解 | | | |
| 担当教員名 | 郭 昱昕（Guo Yuxin） | | e-mail | 授業初日に通知 |
| 授業到達目標 | JLPT N3レベルの文章を読んで，アカデミックな読みができるようになる。 | | | |

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

各自で教科書の語彙リストを予習して，課題を完成してから授業を受けてください。授業では，各課の「学習目標」の達成を目指しながら，ペアリーディングを行って，「アカデミックな読み」に必要なスキルを身につけるために，タスクをこなしていきます。また，精読の時間では，既習語彙と文法の復習，新出語彙と文法の確認も行います。

| | | 1校時 | 2校時 |
|---|---|---|---|
| 第1週 | 4/8 | オリエンテーション | 授業の進め方と課題のやり方の説明 |
| 第2週 | 4/15 | 第1課 日本語で世界の友をつくる | 第1課 日本語で世界の友をつくる |
| 第3週 | 4/22 | 第2課 勇気を出して | 第2課 勇気を出して |
| 第4週 | 5/13 | 第3課 山道でクマに出合ったら | 第3課 山道でクマに出合ったら |
| 第5週 | 5/20 | 第4課 面接は何で決まる？ | 第4課 面接は何で決まる？ |
| 第6週 | 5/27 | 第5課 「とりあえず」の力 | 第5課 「とりあえず」の力 |
| 第7週 | 6/3 | 第6課 異文化適応プロセス | 第6課 異文化適応プロセス |
| 第8週 | 6/10 | 第7課 頭が良くなる勉強法 | 第7課 頭が良くなる勉強法 |
| 第9週 | 6/17 | 第8課 擬態語の楽しさ，奥深さ | 第8課 擬態語の楽しさ，奥深さ |
| 第10週 | 6/24 | 第9課 13歳のハローワーク | 第9課 13歳のハローワーク |
| 第11週 | 7/1 | 第10課 間違いだらけの職業選び | 第10課 間違いだらけの職業選び |
| 第12週 | 7/8 | 第11課 自分は自分だからよい | 第11課 自分は自分だからよい |
| 第13週 | 7/15 | 第12課 希望のキャンプ | 第12課 希望のキャンプ |
| 第14週 | 7/22 | 第13課 1の励ましが | 第13課 1の励ましが |
| 第15週 | 7/29 | 第14課 天を恨まず | 第14課 天を恨まず |
| 第16週 | 8/5 | 期末試験 | |

| | |
|---|---|
| 教科書・教材等 | 『読む力 初中級』<br>（奥田純子（監修），くろしお出版，ISBN=978-4874248270，1980円） |
| 成績評価の方法・基準等 | (1) 授業への参加度（出席・授業態度）：30%<br>(2) 日常課題・ミニレポート：30%<br>(3) 期末試験：40%<br>注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は，成績評価は与えられません。 |
| アクセシビリティ | 長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または留学生教育・支援センターにご相談下さい。<br>留学生教育・支援センター<br>（TEL）095-819-2243　（E-MAIL）ryugakusei_nihongo@ml.nagasaki-u.ac.jp |
| 備考（準備学習等） | 私的な理由（ex. 旅行，家族訪問etc.）によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験etc.，専門関係：乗船実習，研究発表etc.）により，テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが，日時の変更が認められた場合，点数は獲得点数の90%となる。 |

| 2025年度 前期 | 曜日・校時 | 木曜日・1校時 | コマ数 | 1コマ |
|---|---|---|---|---|
| 授業科目 | 中級Ⅰ聴解 | | | |
| 担当教員名 | 小谷 裕子 | | e-mail | 授業初日に通知 |
| 授業到達目標 | (1) 日本人同士の自然な雑談をベースにした「リアルな会話」を聞き取ることで，能動的な聴解力を高めること。(2) 聞いて理解するだけではなく，さらに会話を展開していけるようなコミュニケーション能力を身につけること。 | | | |

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

1ユニットにつき2週のペースで授業を進めます。1週目はパターンが同じで異なるトピックの会話をいくつか聞き，内容を理解します。2週目は自然な話し言葉で使われる表現を使って適切な受け答えができるように会話の練習をします。ユニットが終わるごとにクイズをします。

| | | |
|---|---|---|
| 第1週 | 4/10 | オリエンテーション / 情報積み上げ① ユニット1「みんなでたこ焼き」 |
| 第2週 | 4/17 | 情報積み上げ② ユニット1「みんなでたこ焼き」 |
| 第3週 | 4/24 | 情報積み上げ③ ユニット2「だぶった！」 |
| 第4週 | 5/8 | 情報積み上げ④ ユニット2「だぶった！」 |
| 第5週 | 5/15 | 情報積み上げ⑤ ユニット3「健康にはスムージー」 |
| 第6週 | 5/22 | 情報積み上げ⑥ ユニット3「健康にはスムージー」 |
| 第7週 | 5/29 | 予測聞きとり① ユニット4「桜の下でランニング」 |
| 第8週 | 6/5 | 予測聞きとり② ユニット4「桜の下でランニング」 |
| 第9週 | 6/12 | 予測聞きとり③ ユニット5「なんかいいことあった？」 |
| 第10週 | 6/19 | 予測聞きとり④ ユニット5「なんかいいことあった？」 |
| 第11週 | 6/26 | 背景情報活用① ユニット6「これがおすすめ」 |
| 第12週 | 7/3 | 背景情報活用② ユニット6「これがおすすめ」 |
| 第13週 | 7/10 | 背景情報活用③ ユニット7「温泉大好き」 |
| 第14週 | 7/17 | 背景情報活用④ ユニット7「温泉大好き」 |
| 第15週 | 7/24 | 背景情報活用⑤ ユニット8「旅行に行ったけど」 |
| 第16週 | 7/31 | 期末試験 |

| | |
|---|---|
| 教科書・教材等 | 『リアルな会話で学ぶ にほんご初中級リスニング Alive』<br>（鎌田 修（監修），ジャパンタイムズ出版，ISBN=978-4-7890-1801-2，2860円） |
| 成績評価の方法・基準等 | (1) 授業への参加度：10% (2) 態度：10%<br>(3) 課題テスト：40% (4) 期末試験：40%<br>注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は，成績評価は与えられません。 |
| アクセシビリティ | 長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または留学生教育・支援センターにご相談下さい。<br>留学生教育・支援センター<br>（TEL）095-819-2243 （E-MAIL）ryugakusei_nihongo@ml.nagasaki-u.ac.jp |
| 備考（準備学習等） | 私的な理由（ex. 旅行，家族訪問etc.）によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験etc.，専門関係：乗船実習，研究発表etc.）により，テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが，日時の変更が認められた場合，点数は獲得点数の90%となる。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 2025年度 前期 | 曜日・校時 | 木曜日・2校時 | コマ数 | 1コマ |
| 授業科目 | 中級Ⅰ漢字 | | | |
| 担当教員名 | 渡邊 佐智子 | | e-mail | 授業初日に通知 |
| 授業到達目標 | 中級レベル（日本語能力試験N3～N2レベル）の漢字を中心に，学習者が生活の中で必要な漢字，覚えておくと便利な漢字が“使える”ようになるための基礎力を身につける。 | | | |

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

(1) PART1からPART4では，漢字のどんなところに注目すれば新しい漢字や言葉を覚えやすくなるのかを，練習問題を通してわかるようになる。

(2) PART5は，実践トレーニングで，身近なものから情報を得る練習をする。

(3) 毎回，課題（assignment）を出す。

| | | |
|---|---|---|
| 第1週 | 4/10 | オリエンテーション，PART0 |
| 第2週 | 4/17 | PART1 Step1 |
| 第3週 | 4/24 | PART1 Step2 |
| 第4週 | 5/8 | PART2 Step1 |
| 第5週 | 5/15 | PART2 Step1/Step2 |
| 第6週 | 5/22 | 復習 |
| 第7週 | 5/29 | 中間試験（PART1～PART2） |
| 第8週 | 6/5 | PART3 Step1 |
| 第9週 | 6/12 | PART3 Step2 |
| 第10週 | 6/19 | PART3 Step3 |
| 第11週 | 6/26 | PART4 Step1/Step2 |
| 第12週 | 7/3 | PART4 Step2 |
| 第13週 | 7/10 | PART5 Step1 |
| 第14週 | 7/17 | PART5 Step2 |
| 第15週 | 7/24 | 復習 |
| 第16週 | 7/31 | 期末試験（PART3～PART5） |

| | |
|---|---|
| 教科書・教材等 | 『初級が終わったら始めよう にほんご漢字トレーニング』<br>（松浦真理子他，アスク出版，ISBN=978-4872177947，1650円） |
| 成績評価の方法・基準等 | 授業への参加度（出席・授業態度）20%，　課題提出 20%，　定期試験 60%<br>注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は，成績評価は与えられません。 |
| アクセシビリティ | 長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または留学生教育・支援センターにご相談下さい。<br>留学生教育・支援センター<br>（TEL）095-819-2243　（E-MAIL）ryugakusei_nihongo@ml.nagasaki-u.ac.jp |
| 備考（準備学習等） | 私的な理由（ex. 旅行，家族訪問etc.）によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験etc.，専門関係：乗船実習，研究発表etc.）により，テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが，日時の変更が認められた場合，点数は獲得点数の90%となる。 |

| 2025年度 前期 | 曜日・校時 | 木曜日・1校時 | コマ数 | 1コマ |
|---|---|---|---|---|
| 授業科目 | 中級Ⅱ会話 | | | |
| 担当教員名 | 古本 裕美 | | e-mail | 授業初日に通知 |
| 授業到達目標 | (1) 日常生活に関連する話題および身近で個人的に関心がある事について，楽に自信をもって積極的に話すことができる。(2) 予期しなかった状況や物語の内容などについて詳細に説明することができる。(3) カジュアルに話すためのルールを知り，それを使いながら日本語の雑談が友達とできる。 | | | |

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

前半は，ロールプレイなどをとおしてその場面に必要な表現を練習します。後半は，カジュアルな日本語で友だちと会話ができるようになるための練習をします。また，「分かっているけど間違える」ということを少なくし，スムーズに会話のやりとりをする力をつけるためにシャドーイングの練習もします。

| | | |
|---|---|---|
| 第1週 | 4/10 | オリエンテーション |
| 第2週 | 4/17 | きっかけについて分かりやすく説明する |
| 第3週 | 4/24 | 人の外見や物について詳しく描写する (1) |
| 第4週 | 5/8 | 人の外見や物について詳しく描写する (2)，シャドーイングテスト (1) |
| 第5週 | 5/15 | ハプニングについて詳しく説明する (1) |
| 第6週 | 5/22 | ハプニングについて詳しく説明する (2) |
| 第7週 | 5/29 | ドラマ，映画，小説等の内容について詳しく説明する (1) |
| 第8週 | 6/5 | ドラマ，映画，小説等の内容について詳しく説明する (2)，シャドーイングテスト (2) |
| 第9週 | 6/12 | 社会的な話題を論理的に説明する (1) |
| 第10週 | 6/19 | 社会的な話題を論理的に説明する (2) |
| 第11週 | 6/26 | 雑談：カジュアルに話す (1) |
| 第12週 | 7/3 | 〃 ：カジュアルに話す (2)，シャドーイングテスト (3) |
| 第13週 | 7/10 | 〃 ：カジュアルに話す (3)，話し相手に共感を示しながら話す |
| 第14週 | 7/17 | 〃 ：不安や不満に思っていることを共有しながら話す |
| 第15週 | 7/24 | 〃 ：話す話題が見つからないときに対処する |
| 第16週 | TBA | 口頭試験，シャドーイングテスト (4) |

| | |
|---|---|
| 教科書・教材等 | 配付資料 |
| 成績評価の方法・基準等 | (1) Voicethreadを使った独話練習（宿題）：15%<br>(2) シャドーイング（宿題・練習・テスト）：25%<br>(3) 授業での積極的な学習態度：45%<br>(4) 口頭試験：15%<br>注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は，成績評価は与えられません。 |
| アクセシビリティ | 長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または留学生教育・支援センターにご相談下さい。<br>留学生教育・支援センター<br>（TEL）095-819-2243　（E-MAIL）ryugakusei_nihongo@ml.nagasaki-u.ac.jp |
| 備考<br>（準備学習等） | 私的な理由（ex. 旅行，家族訪問etc.）によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験etc.，専門関係：乗船実習，研究発表etc.）により，テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが，日時の変更が認められた場合，点数は獲得点数の90%となる。 |

| 2025年度 前期 | 曜日・校時 | 金曜日・1校時 | コマ数 | 1コマ |
|---|---|---|---|---|
| 授業科目 | 中級Ⅱ作文 | | | |
| 担当教員名 | 夛田 美有紀 | | e-mail | 授業初日に通知 |
| 授業到達目標 | 大学で必要とされる学術的な文章が書けるようになる。そして，学術的な文章を書くために必要な，文章の構成が考えられるようになる。 | | | |

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

予定は学習の進み具合に応じて変わります。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 第1週 | 4/11 | オリエンテーション，第1課 | 宿題：ふつう体でレポートの書式で書く |
| 第2週 | 4/18 | 第2課 Step1 | 宿題：500字程度で書いてみよう（p.29） |
| 第3週 | 4/25 | 第2課 Step2 | 宿題：800字程度で書いてみよう（p.35） |
| 第4週 | 5/9 | 第2課 Step3 | 宿題：1000字程度で書いてみよう（p.42） |
| 第5週 | 5/16 | 第3課 Step1 | 宿題：600字程度で書いてみよう（p.49） |
| 第6週 | 5/23 | 第3課 Step2 | 宿題：800字程度で書いてみよう（p.57） |
| 第7週 | 5/30 | 第4課 Step1 | 宿題：600字程度で書いてみよう（p.73） |
| 第8週 | 6/6 | 第4課 Step2 | 宿題：800字程度で書いてみよう（p.79） |
| 第9週 | 6/13 | 第4課 Step3 | 宿題：1000字程度で書いてみよう（p.87） |
| 第10週 | 6/20 | 第5課 Step1 | 宿題：800字程度で書いてみよう（p.95） |
| 第11週 | 6/27 | 第5課 Step2 | 宿題：1000字程度で書いてみよう（p.103） |
| 第12週 | 7/4 | 第6課 Step1 | 宿題：800字程度で書いてみよう（p.125） |
| 第13週 | 7/11 | 第6課 Step2 | 宿題：400字程度で書いてみよう（p.133） |
| 第14週 | 7/18 | 第7課 1～3 | 宿題：最終レポートのテーマと構成を書く（p.146，147） |
| 第15週 | 7/25 | 第7課 3～4 | 宿題：1000字程度で最終レポートを書いてみよう |

| | |
|---|---|
| 教科書・教材等 | 『日本語を学ぶ人のためのアカデミック・ライティング講座』<br>（伊集院郁子・髙野愛子，アスク出版，ISBN=978-4-86639-360-5，1,760円） |
| 成績評価の方法・基準等 | (1) 出席・授業態度：10%<br>(2) 作文の宿題：13回×5%=65%<br>(3) 最終レポートのメモ：5%<br>(4) 最終レポート：20%<br>宿題は締め切りを過ぎたら提出できません。また，作文を書く時に言葉や表現を辞書で言葉を調べてもいいですが，ChatGPTなどの翻訳ツールで文章を作った場合は0点にします。<br><br>注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は，成績評価は与えられません。 |
| アクセシビリティ | 長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または留学生教育・支援センターにご相談下さい。<br>留学生教育・支援センター<br>（TEL）095-819-2243　（E-MAIL）ryugakusei_nihongo@ml.nagasaki-u.ac.jp |
| 備考<br>（準備学習等） | 私的な理由（ex. 旅行，家族訪問etc.）によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験etc.，専門関係：乗船実習，研究発表etc.）により，テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが，日時の変更が認められた場合，点数は獲得点数の90%となる。 |

| 2025年度 前期 | 曜日・校時 | 火曜日・3, 4校時 | コマ数 | 2コマ |
|---|---|---|---|---|
| 授業科目 | 中級Ⅱ読解 | | | |
| 担当教員名 | 日暮 康晴 | | e-mail | 授業初日に通知 |
| 授業到達目標 | (1) 日本語の文章（日本語能力試験N2程度）を読んで，論点や論理展開が把握できる<br>(2) 日本語の文章（日本語能力試験N2程度）を読んで，筆者の主張や意図が把握できる | | | |

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

| | | 1校時 | 2校時 |
|---|---|---|---|
| 第1週 | 4/8 | オリエンテーション | オリエンテーション |
| 第2週 | 4/15 | 第1課 | 第1課 |
| 第3週 | 4/22 | 第2課 | 第2課 |
| 第4週 | 5/13 | 第3課 | 第3課 |
| 第5週 | 5/20 | 第4課 | 第4課 |
| 第6週 | 5/27 | 実力チェック① | 実力チェック①（解説） |
| 第7週 | 6/3 | 第5課 | 第5課 |
| 第8週 | 6/10 | 第6課 | 第6課 |
| 第9週 | 6/17 | 第7課 | 第7課 |
| 第10週 | 6/24 | 第8課 | 第8課 |
| 第11週 | 7/1 | 実力チェック② | 実力チェック②（解説） |
| 第12週 | 7/8 | 第9課 | 第9課 |
| 第13週 | 7/15 | 第10課 | 第10課 |
| 第14週 | 7/22 | 第11課 | 第11課 |
| 第15週 | 7/29 | 実力チェック③ | 実力チェック③（解説） |
| 第16週 | 8/5 | テスト | テスト |

| | |
|---|---|
| 教科書・教材等 | 『読む力　中級』<br>（奥田純子（監修），くろしお出版，ISBN:978-4-87424-518-7，1760円） |
| 成績評価の方法・基準等 | (1) テスト：40%<br>(2) 実力チェック：20%<br>(3) 授業への参加度：20%<br>(4) 宿題：20%<br>注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は，成績評価は与えられません。 |
| アクセシビリティ | 長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または留学生教育・支援センターにご相談下さい。<br>留学生教育・支援センター<br>（TEL）095-819-2243　（E-MAIL）ryugakusei_nihongo@ml.nagasaki-u.ac.jp |
| 備考（準備学習等） | 私的な理由（ex. 旅行，家族訪問etc.）によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験etc.，専門関係：乗船実習，研究発表etc.）によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが，日時の変更が認められた場合，点数は獲得点数の90%となる。 |

| 2025年度 前期 | 曜日・校時 | 木曜日・2校時 | コマ数 | 1コマ |
|---|---|---|---|---|
| 授業科目 | 中級Ⅱ聴解 | | | |
| 担当教員名 | 小谷 裕子 | | e-mail | 授業初日に通知 |
| 授業到達目標 | 日本の生活や文化を知ることができる話題の会話を当事者に「なりきって」聞くことで，能動的な聞く力を身につける。「聞く力」と同時に「聞き返す力」を伸ばすことで，コミュニケーション能力を高める。 | | | |

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

「傍聴型」ではなく，「参加型」の聴解クラスなので，積極的に発言することが求められる。毎回リスニングの課題を課し，翌週課題テストを実施する。

| | | |
|---|---|---|
| 第1週 | 4/10 | オリエンテーション / ユニット1 はじまりは桜から |
| 第2週 | 4/17 | ユニット2 食べる楽しみ |
| 第3週 | 4/24 | （応用1）食生活 |
| 第4週 | 5/8 | 第1週 |
| 第5週 | 5/15 | ユニット4 結婚のお祝い |
| 第6週 | 5/22 | （応用2）結婚 |
| 第7週 | 5/29 | ユニット5 買う楽しみ |
| 第8週 | 6/5 | ユニット6 旅する楽しみ |
| 第9週 | 6/12 | （応用3）旅行 |
| 第10週 | 6/19 | ユニット7 会社の話を聞く |
| 第11週 | 6/26 | ユニット8 恋の話 |
| 第12週 | 7/3 | （応用4）就職活動 |
| 第13週 | 7/10 | ユニット9 笑う楽しみ |
| 第14週 | 7/17 | ユニット10 落語家にインタビュー |
| 第15週 | 7/24 | （応用5）総まとめ |
| 第16週 | 7/31 | 期末試験 |

| | |
|---|---|
| 教科書・教材等 | 『中級から上級への日本語なりきりリスニング』<br>（鎌田 修他，ジャパンタイムズ出版，ISBN=978-4789015660，3300円） |
| 成績評価の方法・基準等 | (1) 授業への参加度：10%<br>(2) 態度：10%<br>(3) 課題テスト：40%<br>(4) 期末試験：40%<br>注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は，成績評価は与えられません。 |
| アクセシビリティ | 長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または留学生教育・支援センターにご相談下さい。<br>留学生教育・支援センター<br>（TEL）095-819-2243　（E-MAIL）ryugakusei_nihongo@ml.nagasaki-u.ac.jp |
| 備考<br>（準備学習等） | 私的な理由（ex. 旅行，家族訪問etc.）によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験etc.，専門関係：乗船実習，研究発表etc.）により，テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが，日時の変更が認められた場合，点数は獲得点数の90%となる。 |

| 2025年度 前期 | 曜日・校時 | 月曜日・4校時 | コマ数 | 1コマ |
|---|---|---|---|---|
| 授業科目 | 中級Ⅱ漢字 | | | |
| 担当教員名 | 郭 昱昕（GUO YUXIN） | | e-mail | 授業初日に通知 |
| 授業到達目標 | （1）教科書に沿って，今まで勉強した漢字を復習・整理し，正確に使えるようになる。<br>（2）新しい漢字の読み方や意味を理解し，場面や文脈に沿った適切な漢字語彙が使えるようになる。 | | | |

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

教科書の各課の最初にある「覚える」の漢字を予習し，各自で課題を完成してから授業を受けてください。授業では，色々な活動とタスクを通じて，漢字の読み方，意味，使い方を確認した後，似ていることばや間違いやすいことばの使い分けを議論しながら，確認していきます。

| | | |
|---|---|---|
| 第1週 | 4/7 | オリエンテーション（授業の進め方と課題のやり方の説明，漢字学習の現状の確認） |
| 第2週 | 4/14 | 確認小テスト①　第1課「確認問題」・「考えて使う」・「発展問題」 |
| 第3週 | 4/21 | 確認小テスト②　第2課「確認問題」・「考えて使う」・「発展問題」 |
| 第4週 | 4/28 | 確認小テスト③　第3課「確認問題」・「考えて使う」・「発展問題」 |
| 第5週 | 5/12 | 確認小テスト④　第4課「確認問題」・「考えて使う」・「発展問題」 |
| 第6週 | 5/19 | 確認小テスト⑤　第5課「確認問題」・「考えて使う」・「発展問題」 |
| 第7週 | 5/26 | 確認小テスト⑥　第6課「確認問題」・「考えて使う」・「発展問題」 |
| 第8週 | 6/2 | 中間試験 |
| 第9週 | 6/9 | 確認小テスト⑦　第7課「確認問題」・「考えて使う」・「発展問題」 |
| 第10週 | 6/16 | 確認小テスト⑧　第8課「確認問題」・「考えて使う」・「発展問題」 |
| 第11週 | 6/23 | 確認小テスト⑨　第9課「確認問題」・「考えて使う」・「発展問題」 |
| 第12週 | 6/30 | 確認小テスト⑩　第10課「確認問題」・「考えて使う」・「発展問題」 |
| 第13週 | 7/7 | 確認小テスト⑪　第11課「確認問題」・「考えて使う」・「発展問題」 |
| 第14週 | 7/14 | 確認小テスト⑫　第12課「確認問題」・「考えて使う」・「発展問題」 |
| 第15週 | 7/28 | 復習&まとめ |
| 第16週 | 8/4 | 期末試験 |

＊上記の授業計画は，授業の進度や学生の学習状況に応じて変更する場合があります。

| | |
|---|---|
| 教科書・教材等 | 『上級・超級日本語学習者のための考える漢字・語彙―上級編―』<br>（八木真生他，ココ出版，ISBN=978-4-904595-60-2，2200円） |
| 成績評価の方法・基準等 | (1) 授業への参加度（出席・授業態度）：30%<br>(2) 日常課題・確認小テスト：30%<br>(3) 中間試験+期末試験：40%<br>注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は，成績評価は与えられません。 |
| アクセシビリティ | 長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または留学生教育・支援センターにご相談下さい。<br>留学生教育・支援センター<br>（TEL）095-819-2243　（E-MAIL）ryugakusei_nihongo@ml.nagasaki-u.ac.jp |
| 備考<br>（準備学習等） | 私的な理由（ex. 旅行，家族訪問etc.）によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験etc.，専門関係：乗船実習，研究発表etc.）により，テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが，日時の変更が認められた場合，点数は獲得点数の90%となる。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 2025年度 前期 | 曜日・校時 | 金曜日・2校時 | コマ数 | 1コマ |
| 授業科目 | 【JLCP】中級総合B（自由選択科目） | | 人数制限 | なし |
| 担当教員名 | 佐多 仁美 | | e-mail | 授業初日に通知 |
| 授業到達目標 | 未知の文章に出会ったとき内容を把握し読み進めることができるようになる。文章について自分の見方や視点を獲得し，表現できるようになる。 | | | |

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

予定は学習の進み具合に応じて変わります。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 第1週 | 4/11 | オリエンテーション | 宿題 |
| 第2週 | 4/18 | 第1課プレタスク，文法 | 【習い事と塾】を読み，分からない言葉や表現を調べる |
| 第3週 | 4/25 | 第1課メインタスク | ポストタスクの作文を書く |
| 第4週 | 5/9 | 第2課プレタスク，文法 | 読みましょう，を読んで，質問1）2）の答えを書く |
| 第5週 | 5/16 | 第2課メインタスク | ポストタスク2.使い分けの例と，使い分けの理由について作文を書く |
| 第6週 | 5/23 | 第2課発表<br>第3課プレタスク | プレタスク3.読みましょう，を読んで1）2）の答えを書く |
| 第7週 | 5/30 | 第3課文法，メインタスク | ハッピーエンドでない昔話を子どもに読ませることについて意見文を書く |
| 第8週 | 6/6 | 第4課プレタスク | |
| 第9週 | 6/13 | 第4課文法，メインタスク | 発表準備 |
| 第10週 | 6/20 | 第4課発表<br>第5課プレタスク | メインタスク1.読みましょう，を読んで，質問2）の答えを書く |
| 第11週 | 6/27 | 第5課メインタスク，文法 | メインタスク2.書きましょうに基づいて，普通体で作文を書く |
| 第12週 | 7/4 | 第6課プレタスク1.2. | プレタスク3.読みましょう，を読んで2）の答えを書く |
| 第13週 | 7/11 | 第6課プレタスク3.～ | ポストタスク1.に基づいて作文を書く |
| 第14週 | 7/18 | 第7課プレタスク | メインタスク読みましょう，を読んで，質問1）3）の答えを書く |
| 第15週 | 7/25 | 第7課メインタスク，文法 | ポストタスクで調べたことに基づいて作文を書く |

| | |
|---|---|
| 教科書・教材等 | 『タスクベースで学ぶ日本語 中級1』<br>（国際基督教大学教養学部日本語教育課程，スリーエーネットワーク，ISBN=978-4883199044，2200円） |
| 成績評価の方法・基準等 | (1) 出席・授業態度：10%　(2) 発表：2回×10%=20%<br>(3) 作文の宿題：6回×10%=60%　(4) 読みましょうの予習：10%<br>注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は，成績評価は与えられません。 |
| アクセシビリティ | 長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または留学生教育・支援センターにご相談下さい。<br>留学生教育・支援センター<br>（TEL）095-819-2243　（E-MAIL）ryugakusei_nihongo@ml.nagasaki-u.ac.jp |
| 備考（準備学習等） | 私的な理由（ex. 旅行，家族訪問etc.）によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験etc.，専門関係：乗船実習，研究発表etc.）により，テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが，日時の変更が認められた場合，点数は獲得点数の90%となる。 |

| 2025年度 前期 | 曜日・校時 | 金曜日・1校時，2校時 | コマ数 | 2コマ |
|---|---|---|---|---|
| 授業科目 | 上級Ⅰ読解 | | | |
| 担当教員名 | 松尾 まゆ美 | | e-mail | 授業初日に通知 |
| 授業到達目標 | 意見文や説明文など，まとまった長さの文章を理解できる。また，文意を捉えるだけではなく，他者との意見交換をしながら思慮を深め，日本語の表現力を高める。 | | | |

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

意見文や説明文，またはグラフや資料などを見て内容を理解し，ペアワークやプレゼンテーションなどで意見や考えを共有する。

| | | 1校時 | 2校時 |
|---|---|---|---|
| 第1週 | 4/11 | オリエンテーション | Unit1「自己紹介と本当の自分」本文 |
| 第2週 | 4/8 | Unit1［自己紹介と本当の自分］文型 | Unit1「自己紹介と本当の自分」発展 |
| 第3週 | 4/25 | Unit3「ジェンダーを考える」本文 | Unit3「ジェンダーを考える」本文 |
| 第4週 | 5/9 | Unit3「ジェンダーを考える」文型 | Unit3「ジェンダーを考える」発展 |
| 第5週 | 5/16 | Unit4「ことばと文化」本文 | Unit4「ことばと文化」本文 |
| 第6週 | 5/23 | Unit4「ことばと文化」文型 | Unit4「ことばと文化」発展 |
| 第7週 | 5/30 | Unit5「心と体のバランス」本文 | Unit5「心と体のバランス」本文 |
| 第8週 | 6/6 | Unit5「心と体のバランス」文型 | Unit5「心と体のバランス」発展 |
| 第9週 | 6/13 | Unit6「働くということ」本文 | Unit6「働くということ」本文 |
| 第10週 | 6/20 | プレゼンテーション① | プレゼンテーション① |
| 第11週 | 6/27 | Unit6「働くということ」文型 | Unit6「働くということ」発展 |
| 第12週 | 7/4 | Unit8「環境のためにできること」本文 | Unit8「環境のためにできること」本文 |
| 第13週 | 7/11 | Unit8「環境のためにできること」文型 | Unit8「環境のためにできること」発展 |
| 第14週 | 7/18 | Unit9「食の共同性」本文 | Unit9「食の共同性」本文 |
| 第15週 | 7/25 | プレゼンテーション② | プレゼンテーション② |
| 第16週 | 8/1 | 期末試験 | なし |

| | |
|---|---|
| 教科書・教材等 | 『新中級から上級への日本語』<br>（鎌田 修他，The Japan Times，ISBN=978-4789014625，3520円） |
| 成績評価の方法・基準等 | (1) 授業への参加度：10%<br>(2) 提出物：10%<br>(3) プレゼンテーション20%<br>(4) 小テスト40%<br>(5) 期末試験20%<br>注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は，成績評価は与えられません。 |
| アクセシビリティ | 長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または留学生教育・支援センターにご相談下さい。<br>留学生教育・支援センター<br>（TEL）095-819-2243　（E-MAIL）ryugakusei_nihongo@ml.nagasaki-u.ac.jp |
| 備考<br>（準備学習等） | 私的な理由（ex. 旅行，家族訪問etc.）によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験etc.，専門関係：乗船実習，研究発表etc.）により，テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが，日時の変更が認められた場合，点数は獲得点数の90%となる。 |

| 2025年度 前期 | 曜日・校時 | 木曜日・1校時，2校時 | コマ数 | 2コマ |
|---|---|---|---|---|
| 授業科目 | 上級Ⅰ総合 | | | |
| 担当教員名 | 野田 智子 | | e-mail | 授業初日に通知 |
| 授業到達目標 | 構成を考えてまとまった文章が書けるようになり，発表できるようになる。 | | | |

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

| | | 1校時 | 2校時 |
|---|---|---|---|
| 第1週 | 4/10 | オリエンテーション，<br>Ⅰ-1:Good writingに必要なこと | Ⅰ-2:文章の種類（モード）と目的 |
| 第2週 | 4/17 | Ⅰ-3:文章の構成 | Ⅱ-1:ナラティブ・客観的／自分について語る |
| 第3週 | 4/24 | Ⅱ-2:描写 客観的描写 | Ⅱ-2:描写 心情を重ねた情景描写 |
| 第4週 | 5/8 | Ⅱ-2:描写 グラフの描写 | グループワーク・発表 |
| 第5週 | 5/15 | Ⅱ-3:説明 1.手順・過程 | グループワーク |
| 第6週 | 5/22 | Ⅱ-3:説明 2.定義 | グループワーク |
| 第7週 | 5/29 | Ⅲ-5-1:参照・引用のルール | Ⅲ-3:情報収集 |
| 第8週 | 6/5 | Ⅱ-3:説明 3.分類・例示 | グループワーク・発表 |
| 第9週 | 6/12 | Ⅲ-1:リサーチペーパーとは<br>Ⅲ-2:発想法（p160ワークシート） | Ⅱ-3:説明 3-4比較・対象 |
| 第10週 | 6/19 | Ⅲ-2:発想法（p160ワークシート:最終作文に向けて） | グループワーク |
| 第11週 | 6/26 | Ⅱ-3:説明 3-5原因・結果 | グループワーク |
| 第12週 | 7/3 | Ⅱ-4:論証（意見文） | グループワーク・発表 |
| 第13週 | 7/10 | Ⅱ-4:論証（問題解決文） | グループワーク |
| 第14週 | 7/17 | Ⅲ-4:アウトラインから執筆へ | Ⅲ-5:執筆・推敲から完成へ |
| 第15週 | 7/24 | 最終作文について発表 | ふりかえり，まとめ |

・基本的に，連絡はLACSで行います。

| | |
|---|---|
| 教科書・教材等 | 『Good Writingへのパスポート 読み手と構成を意識した日本語ライティング』<br>（田中真理・阿部 新，くろしお出版，ISBN=978-4874246184，2200円） |
| 成績評価の方法・基準等 | (1) 授業へのとりくみ・グループ活動への積極的な参加:5%<br>(2) 作文:6回×10%=60%，<br>(3) 最後の作文（7回目）:15%<br>(4) 発表:4回×5%=20%<br>注意:授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は，成績評価は与えられません。 |
| アクセシビリティ | 長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または留学生教育・支援センターにご相談下さい。<br>留学生教育・支援センター<br>（TEL）095-819-2243 （E-MAIL）ryugakusei_nihongo@ml.nagasaki-u.ac.jp |
| 備考<br>（準備学習等） | 私的な理由（ex. 旅行，家族訪問etc.）によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験etc.，専門関係:乗船実習，研究発表etc.）により，テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが，日時の変更が認められた場合，点数は獲得点数の90%となる。 |

| 2025年度 前期 | 曜日・校時 | 火曜日・1校時，2校時 | コマ数 | 2コマ |
|---|---|---|---|---|
| 授業科目 | 上級Ⅱ総合C | | | |
| 担当教員名 | 古本 裕美 | | e-mail | 授業初日に通知 |
| 授業到達目標 | (1) 社会問題や専門的な話題について，詳細，流暢，かつ分かりやすく説明ができる。(2) 別の視点も示しながら，裏付けのある意見を論理的に述べることができる。(3) 相手に配慮しながら助言や交渉ができる。 | | | |

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

教科書で習った語彙・表現，話題展開の方法を用いて，主に話す練習をします。授業で扱った話題の中から，日本人学生に尋ねてみたいものを選んでインタビュー調査を行い，その結果を分析してから発表をします。また，理解しやすい日本語を発音するためと即座に日本語で応答する力をつけるためにシャドーイングの練習もします。

| | | 1校時 | 2校時 |
|---|---|---|---|
| 第1週 | 4/8 | オリエンテーション，アイスブレイク | 左同，口頭試験(1) |
| 第2週 | 4/15 | 第1課「好きな映画・ドラマ・本」 詳細に説明する | 左同 |
| 第3週 | 4/22 | 第2課「年中行事」 インフォーマルな話し方で紹介する | 左同 |
| 第4週 | 5/13 | 第3課「困った状況」 相手に配慮しながら説明と助言をする | 左同 |
| 第5週 | 5/20 | 第4課「不満」 相手に同調したり別の視点を提示したりする | 左同，シャドーイング(1)テスト |
| 第6週 | 5/27 | 第6課「図表」 社会の動きを具体的な数値を用いて説明する | 左同 |
| 第7週 | 6/3 | インタビュー調査(1) 計画 | インタビュー実施，結果分析 |
| 第8週 | 6/10 | 結果発表 | 総括 |
| 第9週 | 6/17 | 第7課「ステレオタイプ」 別の視点を提示しながら意見を述べる | 左同，シャドーイング(2)テスト |
| 第10週 | 6/24 | 第8課「就職活動」 聞き手に分かりやすい段落構成で説明する | 左同 |
| 第11週 | 7/1 | 第9課「労働意義」 相手の意見を受容してから反論や反駁をする | 左同 |
| 第12週 | 7/8 | 第10課「環境問題」 別の可能性を提示・反論して意見を述べる | 左同 |
| 第13週 | 7/15 | インタビュー調査(2) 計画 | インタビュー実施，結果分析 |
| 第14週 | 7/22 | 結果発表 | 総括，シャドーイング(3)テスト |
| 第15週 | 7/29 | 第11課「犯罪」 抽象度の高い表現を使って現代社会の問題を説明したり，それに対する自分の意見を述べたりする | 左同 |
| 第16週 | TBA | 口頭試験(2) | |

| | |
|---|---|
| 教科書・教材等 | 『日本語超級話者へのかけはし―きちんと伝える技術と表現―』<br>（荻原稚佳子，スリーエーネットワーク，ISBN=978-4883194490，2420円）<br>4/14（月）までに長崎大学生協の書店で上記教科書を購入してください。 |
| 成績評価の方法・基準等 | (1) 宿題（語彙予習と独話）：30%　(2) インタビュー調査・発表：20%<br>(3) シャドーイング（練習とテスト）：15%　(4) 口頭試験：10%　(5) 授業への参加度：30%<br>注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は，成績評価は与えられません。 |
| アクセシビリティ | 長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または留学生教育・支援センターにご相談下さい。<br>留学生教育・支援センター<br>（TEL）095-819-2243　（E-MAIL）ryugakusei_nihongo@ml.nagasaki-u.ac.jp |
| 備考<br>（準備学習等） | 私的な理由（ex. 旅行，家族訪問etc.）によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験etc.，専門関係：乗船実習，研究発表etc.）により，テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが，日時の変更が認められた場合，点数は獲得点数の90%となる。 |

| 2025年度 前期 | 曜日・校時 | 金曜日・1校時，2校時 | コマ数 | 2コマ |
|---|---|---|---|---|
| 授業科目 | 上級Ⅱ総合D | | | |
| 担当教員名 | 川﨑 加奈子 | | e-mail | 授業初日に通知 |
| 授業到達目標 | (1)社会，専門，学問の分野の，ある程度長い複雑なテキストを詳細な点まで理解できる。(読むこと:C1) (2)自分の考えや意見を正確に表現でき，自分の発言を上手に他の話し手の発言に合わせることができる。(やり取り:C1) (3)時事問題について，いろいろな可能性の長所，短所を示して自己の見方を説明できる(発表:B2) | | | |

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

教材各課のテーマで，(1)テーマと自分との関わりを語る (2)文章をレジメ(または発表スライド)にまとめる／文章を理解する (3)文章を精読する (4)テーマについて考え意見交換する という一連の作業を通して到達目標を目指します。教材の【内容理解】は宿題とし，教室では発表・質疑・討論を含む積極的な発言を重視します。

| | | 1校時 | 2校時 |
|---|---|---|---|
| 第1週 | 4/11 | オリエンテーション・グループ討議 | ショートスピーチとピア評価 |
| 第2週 | 4/18 | 第1課 読む①概要，内容理解<br>(課は変更可能性あり。以下同じ) | 考え，意見交換する |
| 第3週 | 4/25 | 第1課 読む②概要，内容理解 | 考え，意見交換する |
| 第4週 | 5/9 | 第2課 読む①概要，内容理解 | 考え，意見交換する |
| 第5週 | 5/16 | 第2課 読む②概要，内容理解 | 考え，意見交換する解 |
| 第6週 | 5/23 | 第3課 読む①概要，内容理解 | 考え，意見交換する |
| 第7週 | 5/30 | 第3課 読む②概要，内容理解 | 考え，意見交換する |
| 第8週 | 6/6 | 第1～3課の振り返り | 中間試験 |
| 第9週 | 6/13 | 第4課 読む①概要，内容理解 | 考え，意見交換する |
| 第10週 | 6/20 | 第4課 読む②概要，内容理解 | 考え，意見交換する |
| 第11週 | 6/27 | 第5課 読む①概要，内容理解 | 考え，意見交換する |
| 第12週 | 7/4 | 第5課 読む②概要，内容理解 | 考え，意見交換する |
| 第13週 | 7/11 | 第6課 読む①概要，内容理解 | 考え，意見交換する |
| 第14週 | 7/18 | 第6課 読む②概要，内容理解 | 考え，意見交換する |
| 第15週 | 7/25 | 第7課 読む①概要，内容理解 | 考え，意見交換する |
| 第16週 | 8/1 | 期末試験 | なし |

| | |
|---|---|
| 教科書・教材等 | 『考える人の上級日本語読解』<br>(奥山貴之他，凡人社，ISBN=978-4893589767，2420円) |
| 成績評価の方法・基準等 | (1)中間試験:30% (2)期末試験:30%<br>(3)発表(教師・ピア):10%・10% (4)グループ討議参加度(教師・ピア):10%・10%<br>注意:授業は全回(30回)出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は，成績評価は与えられません。 |
| アクセシビリティ | 長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員(上記連絡先参照)または留学生教育・支援センターにご相談下さい。<br>留学生教育・支援センター<br>(TEL)095-819-2243 (E-MAIL)ryugakusei_nihongo@ml.nagasaki-u.ac.jp |
| 備考<br>(準備学習等) | 1限と2限の出席は個別の授業として数えます。また，私的な理由(ex. 旅行，家族訪問etc.)によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めません。やむを得ない理由(ex. 母校での手続き・試験etc.，専門関係:乗船実習，研究発表etc.)により，テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じますが，点数は獲得点数の90%となります。 |

| 2025年度 前期 | 曜日・校時 | 月曜日・2校時 | コマ数 | 1コマ |
|---|---|---|---|---|
| 授業科目 | 【JLCP】日本探究（文学で学ぶ日本文化）（選択必修科目） | | | |
| 担当教員名 | 安田 眞由美 | | e-mail | 授業初日に連絡 |
| 授業到達目標 | 日本語で書かれた短編小説を通して，日本語の表現や言葉を学ぶだけでなく，小説が書かれた文化的背景，時代背景をも理解し，日本文化の一部を学ぶことができる。さらに，小説を楽しむための創造的・想像的思考も養うことができる。 | | | |

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

2～5回の授業で1つの短編小説を読む。小説を読むことは宿題とし，授業時間は内容確認とディスカッションに充てる。1つの短編小説ごとにリーディングワークシートを課す。また，学期末に1500字程度のレポート提出を求める。

| | | |
|---|---|---|
| 第1週 | 4/7 | オリエンテーション |
| 第2週 | 4/14 | 星新一「欲望の城」 |
| 第3週 | 4/21 | 星新一「窓」①・DVD鑑賞（「欲望の城」） |
| 第4週 | 4/28 | 星新一「窓」② |
| 第5週 | 5/12 | 星新一「窓」③・DVD鑑賞 |
| 第6週 | 5/19 | あさのあつこ「みどり色の記憶」① |
| 第7週 | 5/26 | あさのあつこ「みどり色の記憶」② |
| 第8週 | 6/2 | あさのあつこ「みどり色の記憶」③ |
| 第9週 | 6/9 | 向田邦子「鮒」① |
| 第10週 | 6/16 | 向田邦子「鮒」② |
| 第11週 | 6/23 | 向田邦子「鮒」③ |
| 第12週 | 6/30 | 向田邦子「鮒」④ |
| 第13週 | 7/7 | 向田邦子「鮒」⑤ |
| 第14週 | 7/14 | 赤川次郎「便利な結婚」① |
| 第15週 | 7/28 | 赤川次郎「便利な結婚」② |

| | |
|---|---|
| 教科書・教材等 | 特定の教科書は使用せず，授業開始後にコピーを配布する。 |
| 成績評価の方法・基準等 | (1) リーディングワークシート：60%<br>(2) 期末レポート：25%<br>(3) 授業への参加度：15%<br>注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は，成績評価は与えられません。 |
| アクセシビリティ | 長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または留学生教育・支援センターにご相談下さい。<br>留学生教育・支援センター<br>（TEL）095-819-2243　（E-MAIL）ryugakusei_nihongo@ml.nagasaki-u.ac.jp |
| 備考（準備学習等） | 私的な理由（ex. 旅行，家族訪問etc.）によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験etc.，専門関係：乗船実習，研究発表etc.）により，テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが，日時の変更が認められた場合，点数は獲得点数の90%となる。 |

| 2025年度 前期 | 曜日・校時 | 月曜日・3校時 | コマ数 | 1コマ |
|---|---|---|---|---|
| 授業科目 | 【JLCP】日本探究（文化について考える）（選択必修科目） | | | |
| 担当教員名 | 多田 美有紀 | | e-mail | 授業初日に連絡 |
| 授業到達目標 | 文化についての自分の考えを説明できるようになる。他者の文化観を理解する。 | | | |

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

三つの読み物を手がかりに文化について議論し，レポート作成を行い，自分の意見をまとめて発表をします。

| | | |
|---|---|---|
| 第1週 | 4/7 | オリエンテーション |
| 第2週 | 4/14 | 意見文の書き方 |
| 第3週 | 4/21 | 意見交換のしかた |
| 第4週 | 4/28 | 読解①内容確認，意見交換 |
| 第5週 | 5/12 | 読解①意見交換 |
| 第6週 | 5/19 | 読解②内容確認，意見交換 |
| 第7週 | 5/26 | 読解②意見交換 |
| 第8週 | 6/2 | 読解③内容確認，意見交換 |
| 第9週 | 6/9 | 読解③意見交換 |
| 第10週 | 6/16 | 三つの考え方について意見交換 |
| 第11週 | 6/23 | 自分の考え方について意見交換 |
| 第12週 | 6/30 | 下書き意見交換 |
| 第13週 | 7/7 | 完成版相互評価 |
| 第14週 | 7/14 | まとめの発表① |
| 第15週 | 7/28 | まとめの発表② |

| | |
|---|---|
| 教科書・教材等 | 授業初日に渡します。 |
| 成績評価の方法・基準等 | (1) 出席・授業態度：5%<br>(2) 読解ワークシート：4回×5%=20%<br>(3) 意見ワークシート：4回×10%=40%<br>(4) ワークシート6：5%<br>(5) 下書き：5%<br>(6) 完成版：15%<br>(7) 発表：10%<br>注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は，成績評価は与えられません。 |
| アクセシビリティ | 長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または留学生教育・支援センターにご相談下さい。<br>留学生教育・支援センター<br>（TEL）095-819-2243　（E-MAIL）ryugakusei_nihongo@ml.nagasaki-u.ac.jp |
| 備考（準備学習等） | 私的な理由（ex. 旅行，家族訪問etc.）によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験etc.，専門関係：乗船実習，研究発表etc.）により，テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが，日時の変更が認められた場合，点数は獲得点数の90%となる。 |

| 2025年度 前期 | 曜日・校時 | 月曜日・4校時 | コマ数 | 1コマ |
|---|---|---|---|---|
| 授業科目 | 【JLCP】日本探究（日本語小論文入門）（選択必修科目） | | | |
| 担当教員名 | 古本 裕美 | | e-mail | 授業初日に通知 |
| 授業到達目標 | 日本の大学入学試験等で出題される小論文問題を素材に，現代日本社会のさまざまな課題について論理的かつ明晰な日本語で説明できる。そのうえで，多角的な視点から自分の意見を構築し，説得力のある論述を展開するために必要な，高度な文章力と構成力を身につける。 | | | |

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

毎回，過去に出題された小論文問題の解答方法について説明を聞いた後，小論文を書いて提出してください。提出された小論文は添削して，次回の授業で返却します。添削を参考にしながら，もう一度その小論文を書いて再提出してください。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 第1週 | 4/7 | オリエンテーション，小論文問題の出題形式と小論文の構成 | 「尊敬する人物像」 |
| 第2週 | 4/14 | 賛否の意見を問う小論文問題 (1) | 「空気を読む」 |
| 第3週 | 4/21 | 賛否の意見を問う小論文問題 (2) | 「若者のオタク化」 |
| 第4週 | 4/28 | 賛否の意見を問う小論文問題 (3) | 実力テスト (1) |
| 第5週 | 5/12 | 課題文の要約を伴う小論文問題 (1) | 「落ちこぼれないための競争」 |
| 第6週 | 5/19 | 課題文の要約を伴う小論文問題 (2) | 「高齢者の生きがい」 |
| 第7週 | 5/26 | 課題文の要約を伴う小論文問題 (3) | 「日本人と世間」 |
| 第8週 | 6/2 | 課題文の要約を伴う小論文問題 (4) | 「ネットカフェ難民」 |
| 第9週 | 6/9 | 課題文の要約を伴う小論文問題 (5) | 実力テスト (2) |
| 第10週 | 6/16 | 図表の解釈にもとづく小論文問題 (1) | 「日本の既婚女性の就職率」 |
| 第11週 | 6/23 | 図表の解釈にもとづく小論文問題 (2) | 「女性の労働市場参加の国際比較」 |
| 第12週 | 6/30 | 図表の解釈にもとづく小論文問題 (3) | 「子どもと孤食」 |
| 第13週 | 7/7 | 図表の解釈にもとづく小論文問題 (4) | 「結婚観と家庭の役割」 |
| 第14週 | 7/14 | 図表の解釈にもとづく小論文問題 (5) | 実力テスト (3) |
| 第15週 | 7/28 | まとめ | 総合問題 |

| | |
|---|---|
| 教科書・教材等 | ■教科書・教材：配付資料<br>■購入すべき物：(1) コクヨ原稿用紙A4横書き20×20罫色緑50枚入り（品番：ケ-75N）約400円<br>(2) 2穴バインダー |
| 成績評価の方法・基準等 | (1) 次回の授業で扱うテーマについての事前学習（計14回）：20%<br>(2) 授業中の課題演習（計10回）：20%<br>(3) 再提出された小論文（計10回）：35%<br>(4) 実力テスト（計3回）：15%<br>(5) 総合問題（計1回）：10%<br>注意1：本授業では，生成AIや翻訳アプリを使うことはできません。<br>注意2：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は，成績評価は与えられません。 |
| アクセシビリティ | 長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または留学生教育・支援センターにご相談下さい。<br>留学生教育・支援センター<br>（TEL）095-819-2243　（E-MAIL）ryugakusei_nihongo@ml.nagasaki-u.ac.jp |
| 備考<br>（準備学習等） | 私的な理由（ex. 旅行，家族訪問etc.）によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験etc.，専門関係：乗船実習，研究発表etc.）により，テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが，日時の変更が認められた場合，点数は獲得点数の90%となる。 |

| 2025年度 前期 | 曜日・校時 | 木曜日・3校時 | コマ数 | 1コマ |
|---|---|---|---|---|
| 授業科目 | 【JLCP】日本探究（留学生ビジネス研究）（選択必修科目） | | | |
| 担当教員名 | 溝部 エリ子 | | e-mail | 授業初日に通知 |
| 授業到達目標 | ケース・メソッドから，そのイシューを特定し，解決へ導くスキルを身に付ける。 | | | |

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

(1) リーディング・アサイメントにより，知識のインプットを図ります。

(2) テーマに沿ったケースから，グループディスカッションによって，多様な刺激を得，熟考していきます。

(3) 授業の中での学びを体系化し，アウトプット（プレゼンテーション等）によって，自身の知見として言語化します。

| | | |
|---|---|---|
| 第1週 | 4/10 | オリエンテーション・自己紹介・ケース分析1：グローバリズムと企業 |
| 第2週 | 4/17 | ケース分析2：SDGs |
| 第3週 | 4/24 | ケース分析3：SDGsとESG,CSR |
| 第4週 | 5/8 | ケース分析4：ソーシャル・サポートとソーシャル・ビジネス |
| 第5週 | 5/15 | ケース分析5：企業戦略 |
| 第6週 | 5/22 | ケース分析6・企業戦略・ブランディング |
| 第7週 | 5/29 | 中間プレゼンテーション |
| 第8週 | 6/5 | プレゼンテーションの F.B ケース分析7：多様な人材の育成と活用① |
| 第9週 | 6/12 | ケース分析8：多様な人材の育成と活用② |
| 第10週 | 6/19 | ケース分析9・クロス・カルチャーのシナジー① |
| 第11週 | 6/26 | ケース分析10・クロス・カルチャーのシナジー② |
| 第12週 | 7/3 | ケース分析11・異文化マネジメントと内なる国際化 |
| 第13週 | 7/10 | ケース分析12・異文化マネジメントと組織の活性化 |
| 第14週 | 7/17 | 最終プレゼンテーション準備 |
| 第15週 | 7/24 | 最終プレゼンテーション |

| | |
|---|---|
| 教科書・教材等 | ハーバードビジネスレビュー，日経ビジネスなどから，適宜資料を配布する。 |
| 成績評価の方法・基準等 | (1) 授業参加度：30%<br>(2) プレゼンテーション：（中間10%・最終30%）<br>(3) レポート・提出物等：30%<br>注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は，成績評価は与えられません。 |
| アクセシビリティ | 長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または留学生教育・支援センターにご相談下さい。<br>留学生教育・支援センター<br>（TEL）095-819-2243　（E-MAIL）ryugakusei_nihongo@ml.nagasaki-u.ac.jp |
| 備考<br>（準備学習等） | 私的な理由（ex. 旅行，家族訪問etc.）によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験etc.，専門関係：乗船実習，研究発表etc.）により，テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが，日時の変更が認められた場合，点数は獲得点数の90%となる。 |

| 2025年度 前期 | 曜日・校時 | 木曜日・4校時 | コマ数 | 1コマ |
|---|---|---|---|---|
| 授業科目 | 【JLCP】日本語能力試験N1対策講座（自由選択科目） | | 人数制限 | あり（10名まで） |
| 担当教員名 | 溝部 エリ子 | | e-mail | 授業初日に通知 |
| 授業到達目標 | 幅広い場面で使われる日本語を理解し，運用する力を身に付ける。 | | | |

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

(1) 幅広い話題の論理的にやや複雑な文章や抽象度の高い文章等を読み，話の流れ，文章の構成，表現意図等が理解できるような練習を行っていきます。

(2) 幅広い場面において自然なスピードの，まとまりのある会話，ニュース等から，話の流れ，論理構成，要旨の把握等ができるような練習を行っていきます。

＊授業内容は理解度により，若干の変更があります。

| | | |
|---|---|---|
| 第1週 | 4/10 | オリエンテーション，JLPTの概要（変更点）と過去問題からの対策・注意点 確認テスト1 |
| 第2週 | 4/17 | 文字対策1・語彙対策1 |
| 第3週 | 4/24 | 文法対策1 |
| 第4週 | 5/8 | 文法対策2 |
| 第5週 | 5/15 | 聴解対策1 |
| 第6週 | 5/22 | 読解対策1 |
| 第7週 | 5/29 | 模擬試験1—言語知識（文字・語彙・文法） |
| 第8週 | 6/5 | 模擬試験2—聴解 ・模擬試験1（文字・語彙・文法）1 F.B |
| 第9週 | 6/12 | 模擬試験3—読解 ・模擬試験2 聴解F.B |
| 第10週 | 6/19 | 模擬試験3（読解）F.B ・読解対策2 |
| 第11週 | 6/26 | 文法対策3・読解対策3 |
| 第12週 | 7/3 | 試験直前対策 |
| 第13週 | 7/10 | JLPT総復習1 |
| 第14週 | 7/17 | JLPT総復習2 |
| 第15週 | 7/24 | JLPT総復習3・最終確認テスト |

| | |
|---|---|
| 教科書・教材等 | 授業中に配布します。 参考となる問題集等，その都度紹介していきます。 |
| 成績評価の方法・基準等 | (1) 授業参加度：20%<br>(2) 模擬試験：30%<br>(3) 確認テスト：30%<br>(4) クイズ：20%<br>注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は，成績評価は与えられません。 |
| アクセシビリティ | 長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または留学生教育・支援センターにご相談下さい。<br>留学生教育・支援センター<br>（TEL）095-819-2243 （E-MAIL）ryugakusei_nihongo@ml.nagasaki-u.ac.jp |
| 備考（準備学習等） | 私的な理由（ex. 旅行，家族訪問etc.）によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験etc.，専門関係：乗船実習，研究発表etc.）により，テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが，日時の変更が認められた場合，点数は獲得点数の90%となる。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 2025年度 前期 | 曜日・校時 | 火曜日・5校時 | コマ数 | 1コマ |
| 授業科目 | 【JLCP】日本の文化・社会・言語Ⅱ | | | |
| 担当教員名 | 古本 裕美 | | e-mail | 授業初日に通知 |
| 授業到達目標 | (1) プレゼンテーションツールを使って，自分の家族，趣味，休みの過ごし方などについて詳しく説明できる。(2) 自分の考え・意見を具体的な例とともに段落の長さで述べることができる。 | | | |

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

毎回2，3名ずつクラスメイトに教えたいことを見せて発表をします（Show & Tell）。その後，全員で，自分自身のこと，自分が住んでいる所のこと，社会問題などについてクラスメイトに説明したり，自分の意見を述べたりします。

| | | |
|---|---|---|
| 第1週 | 4/8 | オリエンテーション，自己紹介，おしゃべり |
| 第2週 | 4/18（金）<br>3校時 | 図書館ガイダンス@中央図書館別館2階 e-room<br>＊この週だけ金曜日の3校時（12:50-14:20）に授業します。 |
| 第3週 | 4/22 | e-mailの書き方 |
| 第4週 | 5/13 | Show & Tell 1，「留学目的」について |
| 第5週 | 5/20 | Show & Tell 2，「故郷」について (1) |
| 第6週 | 5/27 | Show & Tell 3，「故郷」について (2) |
| 第7週 | 6/3 | Show & Tell 4，「衣食住」について (1) |
| 第8週 | 6/10 | Show & Tell 5，「衣食住」について (2) |
| 第9週 | 6/17 | Show & Tell 6，「好きなドラマ・映画」について (1) |
| 第10週 | 6/24 | Show & Tell 7，「好きなドラマ・映画」について (2) |
| 第11週 | 7/1 | Show & Tell 8，「教育」について (1) |
| 第12週 | 7/8 | Show & Tell 9，「教育」について (2) |
| 第13週 | 7/15 | Show & Tell 10，「将来の夢」について |
| 第14週 | 7/22 | Show & Tell 11，「印象に残ったニュース」について |
| 第15週 | 7/29 | 本科目のまとめ，おしゃべり |

| | |
|---|---|
| 教科書・教材等 | 配付資料 |
| 成績評価の方法・基準等 | (1) Show & Tell：45%（発表者として36% ＋ 聞き手として9%）<br>(2) 図書館ガイダンス後の確認問題：10%<br>(3) e-mailの宿題：10%<br>(4) 授業での積極的な学習態度：35%<br>注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は，成績評価は与えられません。 |
| アクセシビリティ | 長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または留学生教育・支援センターにご相談下さい。<br>留学生教育・支援センター<br>（TEL）095-819-2243 （E-MAIL）ryugakusei_nihongo@ml.nagasaki-u.ac.jp |
| 備考（準備学習等） | 私的な理由（ex. 旅行，家族訪問etc.）によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験etc.，専門関係：乗船実習，研究発表etc.）により，テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが，日時の変更が認められた場合，点数は獲得点数の90%となる。 |

| 2025年度 前期 | 曜日・校時 | 火曜日・5校時 | コマ数 | 1コマ |
|---|---|---|---|---|
| 授業科目 | 【JLCP】日本の文化・社会・言語Ⅱ | | | |
| 担当教員名 | 郭 昱昕（Guo Yuxin） | | e-mail | 授業初日に通知 |
| 授業到達目標 | （1）日本の文化，社会，言語に関連する話題を通じて，日本についてさらに知って，日本語で簡単に説明できる。（2）自分の持っている知識が正誤を確認して，理解を深めた上で，自分の考えや意見が述べられる。（3）ICTなどを使って，日本語で発表できる。 | | | |

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

各週，日本の文化，社会，言語に関する話題をピックアップして，授業を展開していきます。学生は，授業をききながら，自分の持っている知識や自分の認識が正しく整理して，「日本」に対する理解を深めていきます。さらに，関連情報を調べて，興味があるものを見つけて，自分の日本語でクラスメートに説明したり，感想や意見を伝えたりする練習を行っていきます。

| | | |
|---|---|---|
| 第1週 | 4/8 | オリエンテーション<br>日本の言語① 文字表記と「音」 |
| 第2週 | 4/15 | 日本の言語② 日本語のバリエーション |
| 第3週 | 4/22 | 日本の言語③ 談話のレトリックと表現 |
| 第4週 | 5/13 | 日本の言語④ 日本語の誤用 |
| 第5週 | 5/20 | 日本の言語⑤ 発表Ⅰ |
| 第6週 | 5/27 | 日本の文化① 日本の伝統芸能 |
| 第7週 | 6/3 | 日本の文化② 和食 |
| 第8週 | 6/10 | 日本の文化③ 日本人のしきたり |
| 第9週 | 6/17 | 日本の文化④ 日本の文学 |
| 第10週 | 6/24 | 日本の文化⑤ 発表Ⅱ |
| 第11週 | 7/1 | 日本の社会①「日本」の姿 |
| 第12週 | 7/8 | 日本の社会② 日本人の「行動様式」 |
| 第13週 | 7/15 | 日本の社会③ 日本の社会問題① |
| 第14週 | 7/22 | 日本の社会④ 日本の社会問題② |
| 第15週 | 7/29 | 日本の社会⑤ 発表Ⅲ |

| | |
|---|---|
| 教科書・教材等 | 参考：『世界の日本語学習者のための日本語教材 日本という国』<br>（大森和夫・大森弘子，朝日新聞出版，ISBN=978-4021003042，1474円）<br>＊参考書を買う必要はありません。必要に応じて，プリントを配布します。 |
| 成績評価の方法・基準等 | （1）出席・授業態度：30%（2点×15回）　（2）課題・ミニレポート：25%（5点×5回）<br>（3）発表＆発表原稿の作成：45%（15点×3回）<br>注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は，成績評価は与えられません。 |
| アクセシビリティ | 長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または留学生教育・支援センターにご相談下さい。<br>留学生教育・支援センター<br>（TEL）095-819-2243　（E-MAIL）ryugakusei_nihongo@ml.nagasaki-u.ac.jp |
| 備考（準備学習等） | 私的な理由（ex. 旅行，家族訪問etc.）によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験etc.，専門関係：乗船実習，研究発表etc.）により，テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが，日時の変更が認められた場合，点数は獲得点数の90%となる。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 2025年度 前期 | 曜日・校時 | 水曜日・4校時 | コマ数 | 1コマ |
| 授業科目 | 【JLCP】日本の伝統文化（自由選択科目） | | 人数制限 | あり（10名まで） |
| 担当教員名 | （主）古本 裕美 | | e-mail | 授業初日に通知 |
| 授業到達目標 | 日本の伝統文化についての講義を聞いたり体験したりすることにより，日本文化への理解を深める。 | | | |

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

| | | 内容 | 場所 | （担当教員） |
|---|---|---|---|---|
| 第1週 | 4/9 | オリエンテーション，講義1 長崎の年中行事 | 2番教室 | （古本 裕美） |
| 第2週 | 4/16 | 講義2 漫才 | 2番教室 | （マヌー 島岡） |
| 第3週 | 4/23 | 講義3 音の文化 | 2番教室 | （後藤 信行） |
| 第4週 | 5/7 | 講義4 水との暮らし in 長崎 | 2番教室 | （野口 正人） |
| 第5週 | 5/14 | 講義5 剣道 | 2番教室 | （古本 裕美） |
| 第6週 | 5/21 | 体験1 書道 | 2番教室 | （原口 朝美） |
| 第7週 | 5/28 | 体験2 和菓子（おはぎ） | 葉國璽交流会館1階 | （阿部 美和子） |
| 第8週 | 6/4 | 体験3 着付け | watoto（眼鏡橋近く） | （森 鈴香・竹内 智子） |
| 第9週 | 6/11 | 体験4 茶道 | 和室 | （髙木 裕子） |
| 第10週 | 6/18 | 体験5 華道① | 2番教室 | （伊達木 百合子） |
| 第11週 | 6/25 | 体験6 華道② | 2番教室 | （伊達木 百合子） |
| 第12週 | 7/2 | 体験7 日本舞踊① | 和室 | （乗本 喜美子） |
| 第13週 | 7/9 | 体験8 日本舞踊② | 和室 | （乗本 喜美子） |
| 第14週 | 7/16 | 体験9 日本舞踊③ | 和室 | （乗本 喜美子） |
| 第15週 | 7/23 | 発表 本科目で学んだ内容を一つ選び，さらにそれについて調べたうえで発表する | 教室 | （古本 裕美） |

●事前に授業に必要な物をみなさんのために購入します。休まないでください。

●体調不良が原因で休む場合は，休むことを決め次第，主担当教員（古本）にメールを送ってください。

●4/16（水）は先生とZoomでつないで「漫才」を習います。

●6/4（水）の場所とその日に必要な服・靴は，後日知らせます。

| | |
|---|---|
| 教科書・教材等 | 配付資料 |
| 成績評価の方法・基準等 | （1）積極的な学習態度：50%　（2）授業後の振り返り記録：45%　（3）発表：5%<br>注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は，成績評価は与えられません。 |
| アクセシビリティ | 長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または留学生教育・支援センターにご相談下さい。<br>留学生教育・支援センター<br>（TEL）095-819-2243　（E-MAIL）ryugakusei_nihongo@ml.nagasaki-u.ac.jp |
| 備考（準備学習等） | 私的な理由（ex. 旅行，家族訪問etc.）によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験etc.，専門関係：乗船実習，研究発表etc.）により，テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが，日時の変更が認められた場合，点数は獲得点数の90%となる。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 2025年度 前期 | 曜日・校時 | 水曜日2校時 | コマ数 | 1コマ |
| 授業科目 | 【JLCP】茶道（自由選択科目） | | 人数制限 | あり（10名まで） |
| 担当教員名 | 髙木 裕子 | | e-mail | 授業初日に通知 |
| 授業到達目標 | 茶道を通して，日本の伝統文化を理解，知ろうとする心を育てる。 | | | |

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

裏千家茶道の入門教養を通して，茶道の歴史，茶道具，そして掛け軸などについて学びます。抹茶の点て方，お菓子のいただき方，そして茶会について学び，裏千家茶道の基本的なマナーの習得を目指します。5月18日（日）に授業を行いますので，日曜日に参加できる学生のみ申し込んでください。また6月25日（水）の茶会への参加は必須です。

| | | |
|---|---|---|
| 第1週 | 4/9 | 自己紹介，オリエンテーション，授業の準備について |
| 第2週 | 4/16 | 茶道の歴史について，お茶の飲み方，お菓子の食べ方 |
| 第3週 | 4/23 | 軸について「和敬清寂」 |
| 第4週 | 5/7 | 茶道小物について（ふくさ，懐紙，他） |
| 第5週 | 5/14 | 茶道具について（茶碗，棗，茶杓，茶筅，茶巾，他） |
| 第6週<br>第7週 | 5/18（日）<br>13時～16時 | 茶会体験<br>長崎市内で行われる，本格的な茶会を体験しに行きます。13時～16時の予定です。 |
| 第8週 | 5/21 | 軸について「一期一会」 |
| 第9週 | 5/28 | 茶会について①，お点前総練習① |
| 第10週 | 6/11 | 茶会について②，お点前総練習② |
| 第11週 | 6/18 | 茶会について③，お点前総練習③ |
| 第12週 | 6/24（火） | 茶会の前日準備 （午後12時～16時の間で事前準備に少しでも来ること） |
| 第13週<br>第14週 | 6/25 | 茶会<br>長崎大学にて茶会をします。朝8時半集合～12時半頃までかかります。 |
| 第15週 | 7/2 | 片づけ<br>まとめ |

＊ 予備日として，7/9（水），7/16（水） を予定する。

| | |
|---|---|
| 教科書・教材等 | 5/18（日）の茶会体験時は往復の路面電車代がかかります。<br>筆記用具，靴下，ハンカチ，タオル等 |
| 成績評価の方法・基準等 | (1) 宿題：10%<br>(2) 授業への取り組み・態度：40%<br>(3) 6/25（水）の茶会への取り組み参加：50% ＊6/25（水）の茶会への出席は必須とします。<br>注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は，成績評価は与えられません。 |
| アクセシビリティ | 長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または留学生教育・支援センターにご相談下さい。<br>留学生教育・支援センター<br>（TEL）095-819-2243 （E-MAIL）ryugakusei_nihongo@ml.nagasaki-u.ac.jp |
| 備考（準備学習等） | 私的な理由（ex. 旅行，家族訪問etc.）によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験etc.，専門関係：乗船実習，研究発表etc.）により，テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが，日時の変更が認められた場合，点数は獲得点数の90%となる。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 2025年度 前期 | 曜日・校時 | 木曜日・5校時 | コマ数 | 1コマ |
| 授業科目 | 【JLCP】日本文学B（自由選択科目）【すべてZoom授業】 | | 人数制限 | なし |
| 担当教員名 | 小橋 玲治 | | e-mail | 授業初日に通知 |
| 授業到達目標 | 自国の作品の中でも外国の作品（日本の作品が望ましいが，必須ではない。また，できれば授業で扱ったもの以外が良い）の影響を受けて成立した作品について，自分なりに一定分量以上の日本語で感想，もしくは分析ができるようになる。 | | | |

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

江戸時代，海外との交渉を絶っていた日本において，長崎は公式で唯一の海外との窓口だった。鎖国が解かれて以降，日本の作家たちは流入してきた海外作品の影響を多分に受けてきた。日本近代文学や漫画に見られるそのような事例やその方法を取り上げていくことで，日本近代文学というものがいかに形成されてきたのかを学ぶ。

| | | |
|---|---|---|
| 第1週 | 4/10 | ガイダンス：『【押しの子】』というタイトルをいかに海外は翻訳したか |
| 第2週 | 4/17 | 海外の詩の影響（1）ヨーロッパの歌が唱歌に，そしてコミックソングに |
| 第3週 | 4/24 | 海外の詩の影響（2）ヨーロッパの詩の翻訳が落語に |
| 第4週 | 5/8 | 海外の詩の影響（3-1）ポール・ヴェルレーヌ「秋の歌」の邦訳史 |
| 第5週 | 5/15 | 海外の詩の影響（3-2）なぜ「ヴァイオリン」ではなく「ヴィオロン」なのか？ |
| 第6週 | 5/22 | インドの仏教説話が中国で笑い話に，日本で落語に |
| 第7週 | 5/29 | インドの仏教説話が最終的に漫画になる |
| 第8週 | 6/5 | 「桃太郎」をどう読むか（1）尾崎紅葉「鬼桃太郎」 |
| 第9週 | 6/12 | 「桃太郎」をどう読むか（2）芥川龍之介「桃太郎」 |
| 第10週 | 6/19 | 「桃太郎」をどう読むか（3）浜田廣介「泣いた赤鬼」，「桃太郎」をどう分析するか |
| 第11週 | 6/26 | 藤子・F・不二雄による文学作品の漫画化―「少年船長」の場合 |
| 第12週 | 7/3 | アフター・コロナの世の中に―志賀直哉「流行感冒」，菊池寛「マスク」 |
| 第13週 | 7/10 | 文学作品と現代のポピュラーミュージック |
| 第14週 | 7/17 | 海外における日本語文学 |
| 第15週 | 7/24 | まとめ |

| | |
|---|---|
| 教科書・教材等 | 授業ごとにLACSを使って配布する。 |
| 成績評価の方法・基準等 | （1）授業内で課す課題：45%<br>（2）レポート：55%<br>注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は，成績評価は与えられません。 |
| アクセシビリティ | 長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または留学生教育・支援センターにご相談下さい。<br>留学生教育・支援センター<br>（TEL）095-819-2243　（E-MAIL）ryugakusei_nihongo@ml.nagasaki-u.ac.jp |
| 備考（準備学習等） | 私的な理由（ex. 旅行，家族訪問etc.）によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験etc.，専門関係：乗船実習，研究発表etc.）により，テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが，日時の変更が認められた場合，点数は獲得点数の90%となる。 |

## 留学生教育・支援センターで開講されている 日本語プログラムでの各クラスのレベルについて

| クラス名 | レベル | レベルについての説明 | 受験可能な JLPT (日本語能力試験) のレベル | 日本語教育の参照枠 |
|---|---|---|---|---|
| 初級Ⅰ | 初級前半 | 初歩的な文法・漢字（100 字程度）語彙（800 語程度）を習得し，日常生活に必要な最低限度の会話ができ，平易な文，または短い文章が読み書きできる能力。日本語を 150 時間程度学習したレベル。<br>・具体的な欲求を満足させるための，よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し，用いることもできる。<br>・自分や他人を紹介することができ，どこに住んでいるか，誰と知り合いか，持ち物などの個人的情報について，質問をしたり，答えたりできる。<br>・もし相手がゆっくり，はっきりと話して，助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。 | N5 | A1 |
| 初級Ⅱ | 初級後半 | 基本的な文法・漢字（300 字程度）語彙（1,500 語程度）を習得し，日常生活に役立つ会話ができ，簡単な文章が読み書きできる能力。日本語を 300 時間程度学習したレベル。<br>・基本的な個人的情報や家族情報，買い物，近所，仕事など，直接関係がある領域に関する，よく使われる文や表現が理解できる。<br>・簡単で日常的な範囲なら，身近で日常の事柄についての情報交換に応ずることができる。<br>・自分の背景や身の回りの状況，直接的な必要性のある領域の事柄を簡単な言葉で説明できる。 | N4 | A2 |
| 中級Ⅰ | 中級前半 | 基本文法の応用ができ，漢字（700 字程度）語彙（3,500 語程度）を習得し，一般的なことがら，日常的な話題について，簡単な会話ができ，読み書きできる能力。日本語を 400 時間程度学習したレベル。<br>・仕事，学校，娯楽で普段出会うような身近な話題について，標準的な話し方であれば主要点を理解できる。<br>・その言葉が話されている地域を旅行しているときに起こりそうな，たいていの事態に対処することができる。<br>・身近で個人的にも関心のある話題について，単純な方法で結びつけられた，脈絡のある文を作ることができる。<br>・経験，出来事，夢，希望，野心を説明し，意見や計画の理由，説明を短く述べることができる。 | N3 | B1 |
| 中級Ⅱ | 中級後半 | やや高度な文法・漢字（1000 字程度）語彙（6,000 語程度）を習得し，少し高度な一般的なことがら，日常的な話題について，会話ができ，読み書きできる能力。日本語を 600 時間程度学習したレベル。<br>・自分の専門分野の技術的な議論も含めて，抽象的かつ具体的な話題の複雑な文の主要な内容を理解できる。<br>・お互いに緊張しないで母語話者とやり取りができるくらい流暢かつ自然である。<br>・かなり広汎な範囲の話題について，明確で詳細な文を作ることができ，さまざまな選択肢について長所や短所を示しながら自己の視点を説明できる。 | N2 | B2 |
| 上級Ⅰ | 上級前半 | 高度な文法・漢字（1,500 字程度）語彙（8,000 語程度）を習得し，大学における学習・研究の基礎として役立つことを目指す。日本語を 800 時間程度学習したレベル。<br>・自分の専門分野に関する非常に専門的な資料から，情報，考え，意見を読み取ることができる。<br>・論拠，論点を整然と展開して，エッセイやレポートを書くことができる。その際，重要な点や関連する補足事項の詳細を，適切に強調することができる。<br>・正確に自分の考えや意見を表現できる。また，説得力をもって議論の複雑な道筋を提示し，それに反応できる。<br>・記述とプレゼンテーションを明確かつ体系的に展開できる。その際，要点を失わずに，関連する詳細情報を付け加えて，内容を補足できる。 | N1 | B2 |
| 上級Ⅱ | 上級後半 | 高度な文法・漢字（2,000 字程度）語彙（10,000 語以上）を習得し，大学における学習・研究の基礎としても役立つような総合的に高い日本語レベル。日本語を 1000 時間以上学習したレベル。<br>・いろいろな種類の高度な内容のかなり長い文を理解することができ，含意を把握できる。<br>・言葉を探しているという印象を与えずに，流暢に，また自然に自己表現ができる。<br>・社会的，学問的，職業上の目的に応じた，柔軟な，しかも効果的な言葉遣いができる。<br>・複雑な話題について明確で，しっかりとした構成の，詳細な文を作ることができる。その際，文を構成する字句や接続表現，結束表現の用法をマスターしていることがうかがえる。 | | C1 |

※留学生教育・支援センターでは，以下のような日本語クラスを開講しています。

| | | |
|---|---|---|
| 初級Ⅰ（5 単位，週 5 コマ） | 中級Ⅰ読解（2 単位，週 2 コマ） | 上級Ⅰ読解　（2 単位，週2 コマ） |
| 初級Ⅱ（5 単位，週 5 コマ） | 中級Ⅰ聴解（1 単位，週 1 コマ） | 上級Ⅰ総合　（2 単位，週2 コマ） |
| | 中級Ⅰ会話（1 単位，週 1 コマ） | 上級Ⅱ総合 A（2 単位，週 2 コマ） |
| | 中級Ⅰ作文（1 単位，週 1 コマ） | 上級Ⅱ総合 B（2 単位，週 2 コマ） |
| | 中級Ⅰ漢字（1 単位，週 1 コマ） | 上級Ⅱ総合 C（2 単位，週 2 コマ） |
| | 中級Ⅱ読解（2 単位，週 2 コマ） | 上級Ⅱ総合 D（2 単位，週 2 コマ） |
| | 中級Ⅱ聴解（1 単位，週 1 コマ） | 日本語能力試験 N1 対策講座（1 単位，週 1 コマ） |
| | 中級Ⅱ会話（1 単位，週 1 コマ） | |
| | 中級Ⅱ作文（1 単位，週 1 コマ） | |
| | 中級Ⅱ漢字（1 単位，週 1 コマ） | |
| | 中級総合 A（1 単位，週 1 コマ） | |
| | 中級総合 B（1 単位，週 1 コマ） | |

＊週 1 コマとは，1 週間に 90 分の授業を 1 回行うことを指します。

（本ページのみ：2015/07/30 作成，2024/03/22 更新）